

見て、知って、誰かに話したくなるコミュニティ情報紙



FUTABANOVA

ふたばのわ

Vol.125
2024.3.15



特集	P.2~5
東日本大震災から13年 空から見る双葉町	
ふたばダルマ市 in なこそ／前田稲荷神社 初午祭	P.6
みんなのわ	P.7
ふたば幼稚園 いちご狩り／双葉町結ぶ会 餅つき大会／情報掲示板	
お知らせ／今月の1枚／町内の放射線モニタリング情報	P.8

今月の表紙

今月の表紙は前田稲荷神社初午祭にて行われた三字芸能保存会による神楽奉納で撮影した一枚です。

一昨年再建した新たな社殿を前に力強く舞う様子を収めました。

前田稲荷神社初午祭についてはP.6にて紹介していますのでぜひご覧ください。

東日本大震災から13年 空から見る双葉町



東日本大震災から13年の今月は、双葉町の現在の様子をドローンで撮影した空撮写真特集です。P2・3では双葉駅周辺や中野地区を中心に、復興が進む町の姿をお届けします。続いて、P4・5では、町の歴史や文化を紡ぐ懐かしい場所の現在を取り上げました。

また双葉町公式チャンネルでは、毎月2本のドローン動画を配信しています。1本目は「空から見た復興状況」で、長塚から中野に繋がる復興シンボル軸の道路に沿って、町の復興状況をご覧いただけます。

2本目の「ふたば空撮」では、中野地区、双葉駅東側・西側を横断的に撮影しており、日に日に変わりゆく町の景色を複数の角度からご確認いただけます。平成28年9月から撮影を開始し、令和4年2月までで約100本の空撮動画を配信してきました。

左のQRコードにはこれまでに配信した動画をまとめておりますので、皆さん是非ご覧ください。



JR双葉駅・双葉町役場（長塚）



JR双葉駅は旧駅舎に隣接して新たに橋上駅舎を整備し令和2年に再開。町の玄関口として多くの方に日々利用されています。そして、令和4年には駅前に双葉町役場新庁舎が開庁し、11年ぶりに役場機能が町に戻りました。また、令和5年から町内で再開した双葉町ダルマ市も、駅前広場やロータリーを利用して開催されるなど、町の中心部となっています。

駅西住宅（長塚）



駅西住宅は帰還する双葉町民や新たに移住される方向けの公営住宅で、町内の「住む拠点」として整備されています。令和4年の入居を皮切りに、エリアごとに順次整備・入居が進められています。敷地内には集会所や軒下の広場などの共用施設があり、住民によるイベントなども開催されています。今年6月には新たにタウンハウス住宅と戸建住宅への入居が開始する予定です。

JR双葉駅東エリア (長塚)



駅東側では令和7年度に商業施設のオープンを目指して工事が進められています。双葉町役場庁舎北側の敷地にスーパーマーケット「イオン」が、町立体育館跡地には飲食店が3店舗入居する予定です。現在町内での日用品の買い物はイオン東北による移動販売やコンビニエンスストアが主流ですが、スーパーマーケット開所後は買い物の利便性が大きく向上することが期待されています。

中野地区復興産業拠点 (浜野)

先行して避難指示が解除された中野地区にて、町の復興を牽引する「働く拠点」として平成30年に整備が開始されました。令和6年2月時点で23件と立地協定を締結。うち18件が操業を開始しています。復興シンボル軸を中心に約50社の産業団地が広がり、建設業、製造業、宿泊業、運輸業など幅広い業種の企業が立地し、町内での雇用を生み出しています。



東日本大震災・原子力災害伝承館/双葉町産業交流センター (浜野)



福島県の被災状況や復興に向けた歩みを展示するとともに、被災した住民による語り部講話を行っている東日本大震災・原子力災害伝承館。飲食店や土産物屋、会議室、企業事務所などが入った複合施設である双葉町産業交流センター。どちらの施設も令和2年に開館して以来、防災学習に訪れる学生や観光客、周辺で働く方々など平日、休日問わず多くの来館者で賑わっています。



双葉南小学校（新山）



双葉南小学校は明治6年に前田小学校として創立。昭和31年に町名が双葉町になったことにより改称され、昭和44年に校舎が現在の場所へ移転、落成されました。

震災発生時に多くの児童が荷物をおいて避難をしたため、現在も校舎内にはランドセルや学用品などが残されています。今後は校舎の大規模な改修などはせずに、震災遺構として活用が検討されています。

新山商店街（新山）

新山商店街は小売店や洋品店、酒造店などが道路に沿って並び、毎年11月には新山秋市が開催されるなど人々の交流が盛んな商店街でした。現在は商店街のほとんどの建物が解体されています。商店街の側を流れる前田川の河川敷は桜の名所となっており、毎年春には多くの町民がお花見を楽しんでいます。



旧役場庁舎（下条）



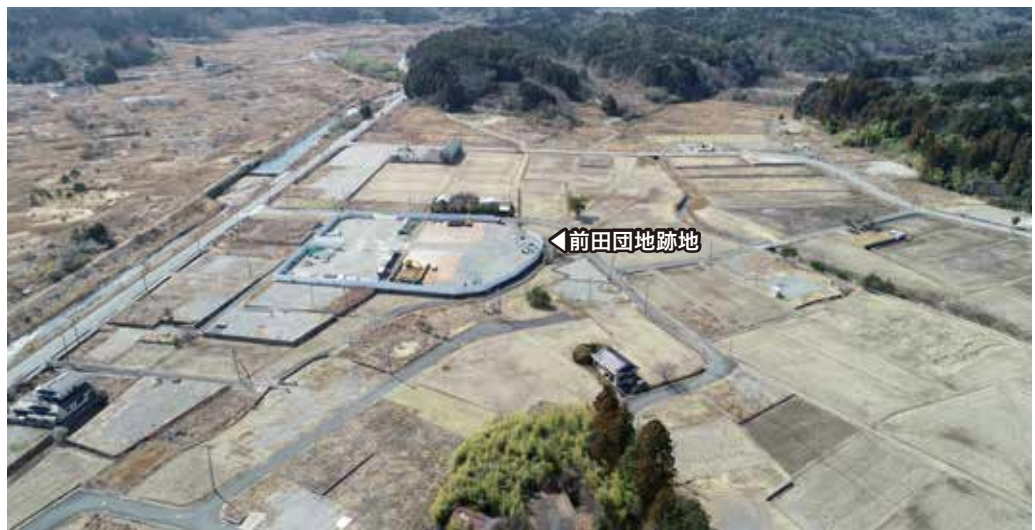
昭和58年に落成された旧役場庁舎。震災前は庁舎北側に病院などがあり、南側はふたばパークヒルズ住宅分譲地、総合運動公園がある町の中心地となっていました。現在も旧役場庁舎はほぼ震災直後の状態のまま残されており、震災後には付近に中間貯蔵施設が稼働しています。

前田稻荷神社 (三字)



前田稻荷神社は、東日本大震災と度重なる余震の影響で社殿が傾くなどの被害を受けたため、再建されました。境内にそびえる前田の大杉は、高さ20m以上、樹齢1000年を超えると言われていて、御神木で、福島県の指定天然記念物となっています。毎年2月には無病息災や地域安全を祈願する初午祭が行われていて、その様子を今月号P6に掲載しておりますのでぜひご覧ください。

前田団地跡地 (三字)



三字行政区の大字である前田に町営住宅前田団地として昭和53年に1号棟が落成、昭和59年までに全6号棟が整備されました。前田団地周辺には戸建ての前田住宅もあり、多くの町民が暮らしていた場所です。町営住宅は解体作業が完了し、現在は更地となっています。

双葉海水浴場 (郡山)



「快水浴場百選」に選ばれ、震災前は町内外から海水浴客や釣り人が訪れていた双葉海水浴場。1987年に建てられた町営の海の家「マリンハウスふたば」は、鉄筋コンクリート造り3階建ての三角形の形をしているのが特徴の建物で、シャワーやトイレ、休憩室があり利用されていました。福島県内最古級の約5000年前の遺跡である郡山貝塚があり、縄文時代の漁撈(ぎょろう)文化がわかる場所となっています。



ふたばダルマ市 in なごそ

1月27日、いわき市勿来酒井復興公営住宅地内で町民有志の「夢ふたば人」主催による「ふたばダルマ市inなごそ」が開催されました。当日は青空が広がり、双葉ダルマなどを買い求める双葉町民や地域住民の皆さんが集まりました。今回でいわき市でのダルマ市の開催は最後になります。



ステージでは歌やものまね、大道芸などが披露され、満席になるほど多くの観客で賑わいました。



大小色とりどりのダルマが並び、会話を楽しみながら購入するお客さんの姿が見られました。



双葉ダルマさんの形をした「ふたば幸福焼き」をはじめ、多くの出店が立ち並びました。

勿来酒井団地でのダルマ市は地域の皆さんとの繋がりができるイベントだったので、最後になってしまおうのが非常に寂しいです。高齢者の方が外に出るきっかけになるなど、とても楽しくて良いイベントだったと感じています。



國分信一さん

来場者インタビュー

勿来酒井団地でダルマ市を開催するのが最後になるので、お世話になった地域の皆さんのためにという思いで参加しました。近所の方にたくさん来ていただいで、楽しそうな表情を見ることができて良かったです。



JA 福島さくら女性部
協議会 双葉支部長
石田恵美さん

出店者インタビュー

前田稲荷神社 初午祭

2月11日、前田稲荷神社にて初午祭が開催されました。初めに社殿内での神事が執り行われ、続いて三字芸能保存会による神楽奉納、前沢の女宝財踊保存会による踊りが披露されました。

双葉町内外から多くの人が訪れ、神社への参拝を終えおみくじを引いたり、町民同士が久しぶりに再会し談笑したりする姿が見られました。会場では、「風が冷たく寒い中でも、前沢の女宝財踊の力強い踊りを見るのができてよかった」「震災前によく来ていた思い出の場所で、また初午祭ができるようになったのは嬉しい」という声が聞かれました。



みんなのわ

みんなのわでは、各地で行われたコミュニティ活動やイベントを紹介します。
掲載希望の行事や活動がありましたら、お気軽に復興支援員までお問い合わせください。

2月9日 (fri)

ふたば幼稚園 いちご狩り

2月9日、ふたば幼稚園のいちご狩りが行われました。園児たちが訪れたのは地域の自然環境を生かして、酸味が少なく身がやわらかい「章姫」という品種を栽培する田人観光いちご園。園児たちはワクワクする気持ちを抑えながら、いちご園のスタッフにしっかりと挨拶をし、いちご狩りをスタートしました。

たくさんの一ちごを目の前に少し迷いながらも、赤く熟

しいちごを見つけて摘んでいく園児たち。新鮮ないちごを口いっぱい頬張り、その美味しさに満面の笑みを浮かべていました。

サイズの大きいものを探したり、変わった形のものを見つけるとお友達や先生に見せてみんなで大笑いしたりと、短い時間の中で収穫の楽しさを学べた有意義な時間となったようです。



2月12日 (mon)

双葉町結ぶ会 餅つき大会

2月12日、双葉町結ぶ会による餅つき大会が駅西住宅集会所にて行われ約50人が参加しました。

この日は白と杵が用意され、参加者の皆さんが順番に餅をつき、「べったん、べったん」と心地よい音と「よしよし! よいしょ!」の掛け声が駅西住宅内に響きました。

餅はあんこ、大根おろし、きなこ、じゅうねん、納豆、雑煮といった豊富なバリエーションで参加者に配られ、そ

れぞれつくたての餅を堪能しました。

最後はいわき市を中心に活動するスチールパン演奏グループ「HALO☆HALO」のコンサートが行われ餅つき大会は終了。

餅つきと音楽を通じて皆さんの交流がさらに深まった1日となりました。



FUTABANOWA 情報掲示板

※今後の状況によっては
イベントが延期・または
中止となる場合がございます。

自治会等イベント

- 勿来酒井団地自治会 …… 3月15日(金)
一般社団法人Tecoによる交流イベント
会場: 勿来酒井団地集会所

自治会・町民グループさまの交流会、イベント情報などございましたら、この掲示板をご活用ください。
掲載をご希望される場合は、双葉町復興支援員までお知らせください。 ☎080-2847-0073

お知らせ

初心者向けの写真教室を開催します。

みんなの笑顔プロジェクト 双葉町さくら写真撮影

キヤノンマーケティングジャパン株式会社の協力のもと初心者向けの写真教室を開催いたします。

今回の教室では写真家の熊田誠氏を講師としてお招きし、双葉町内を散策しながら町の花である桜を撮影していただきます。カメラなどをご準備いただく必要はなく、手ぶらでご参加いただけますので誘い合わせの上ぜひお申し込みください。

◇日時：令和6年4月11日(木)
午後1時30分～午後3時30分

◇場所：双葉町駅西住宅集会所

◇参加費：無料

◇定員：30名

■参加お申し込み・お問い合わせは双葉町役場秘書広報課
(☎0240-33-0125)までご連絡ください。

※開催日の天候や新型コロナウイルス感染症の状況等により開催内容が変更または中止となる場合がございます。



今月の一枚

町内で郵便局が再開しました！



※2月29日撮影



今月の一枚は3月7日に営業を間近に控えた双葉郵便局です。

双葉郵便局は東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により営業を休止していましたが、長塚地区に店舗を移転し、約13年ぶりに営業を再開しました。

郵便窓口、貯金・保険窓口は平日のみ対応し、ATMは土、日、祝日も利用できるとのことです。

生活に必要な機能が再開し、双葉町はまた一歩復興の歩みを進めました。

町内の放射線モニタリング情報

(単位：μSv/h)

地区	地点	平成24年 4月1日	令和6年 2月22日	地区	地点	平成24年 4月1日	令和6年 2月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.14	長塚	双葉町体育館	6.25	0.26
新山	新山公民館	—	0.15	長塚	長塚二公民館	3.26	調整中
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.16	長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.04
新山	双葉南小学校	—	0.17	長塚	町西住宅	—	0.16
新山	双葉中学校	—	0.17	長塚	JAふたば北部営農センター	—	0.86
新山	県立双葉高等学校	—	0.18	長塚	双葉北小学校	—	0.31
新山	中央公園	—	0.20	長塚	ふたば幼稚園	—	0.89
新山	高万迫	—	0.64	長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.28
下条	双葉総合公園	2.60	0.45	長塚	双葉町児童館	—	0.15
下条	双葉町役場	—	0.18	羽鳥	上羽鳥	1.89	0.26
郡山	郡山公民館	1.48	0.25	羽鳥	羽鳥公民館	1.73	調整中
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	0.31	寺松	寺松公民館	3.46	調整中
細谷	消防屯所前	—	0.53	渋川	渋川公民館	1.48	0.26
細谷	細谷公民館	—	0.25	鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.42
三字	三字公民館	2.53	0.13	中田	中田公民館	0.77	調整中
山田	山田農村広場	24.47	2.38	両竹	両竹公民館	0.54	0.07
石熊	石熊公民館	12.10	1.32	浜野	双葉町産業交流センター	—	0.06

※「細谷地区 消防屯所前」の測定日は2月21日です。

全国及び福島県の空間線量測定結果については福島県放射能測定マップでご覧になれます。 ▶ <http://fukushima-radioactivity.jp/pc>